<会員ポジション>

鋊	祈	限月	建玉日	建玉値段	売枚数	買枚数	終値	新規注文	ロスカット	利食目標
金	1	2017/12		4370 円		1	4397円		4346 円以下	4450 円以上
W.	2	2017/12								
白金	1	2017/12		3590 円		1	3609 円		3535 円以下	3730 円以上
日並	2	2017/12								
コーン	1	2018/01			1		22300円	22300 円以上	22750 円以上	21500 円以下
	2	2018/01								
ゴム	1	2017/06			1		301.0円	305 円以上	308.5 円以上	280 円以下
	2	2017/06								

※この会員ポジションは、元本を保証しているものではありません。必ず、ご自身の判断でお願い致します。

世界のETF取組高

銘柄	2月3日時点	前日比	主な増減
金	1932. 39	+11. 42	NY市場の増加
銀	19942. 64	+20. 69	ETFS・USの増加 i シェアーズの減少
白金	66. 72	-0. 31	ロンドンの減少
パラジウム	48. 91	±0	

1トン単位

東京トウモロコシの需給・作付面積・四半期在庫予想

需給報告	事前予想	FCストーン	インフォーマ	前回
単収()				
生産高()				
期末在庫()				
四半期在庫()				
作付面積()				

東京金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	4358円	4377円	4274円	4268円
移動平均線(日足)	5日	25日	100日	
	4388 円	4383 円	4300 円	
移動平均線(週足)	5週	25週	100週	
	4397 円	4303 円	4385 円	
RSI (14日)	60%	乖離率(13日)	0.4%	乖離率 5 % が
RSI (14週)	57. 7%	乖離率(13週)	1.7%	目安

ボリンジャーバンド					
$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$	
4427円	4408円	4398円	4371円	4355円	

CFTC 建玉明細(~までの一週間)					
日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り	
1/3	424, 673	208, 855	112, 305	96, 550	
1/10	444, 001	214, 000	104, 518	109, 482	
1/17	467, 937	218, 144	111, 103	107, 041	
1/24	482, 374	209, 854	100, 447	109, 407	
1/31	398, 433	212, 414	93, 259	119, 155	
前週比	-83, 941	2, 560	-7, 188	9, 748	

コメント 本日の予想レンジ 4388 円~4408 円 今週の予想レンジ 4385 円~4430 円

週末3日の金現物相場はしっかり。1月の米雇用統計で賃金が低い伸びにとどまり、目先の利上げの可能性が小さくなりドル相場を圧迫。これを受けて、地合いが持ち直した。1月の米非農業部門就業者数の伸びは、建設・小売業の雇用増に支えられて予想を大きく上回った一方、賃金はほとんど上昇しなかった。コメルツ銀行のアナリスト、カルステン・フリッチュ氏は「市場は弱い賃金の伸びに注目しているようだ。賃金の伸びの低さはインフレ圧力の後退を示唆し、FRBによる利上げの必要性を後退させる」と説明した。ドル相場と10年物米国債利回りは高い水準から低下し、ほぼ変わらず。金相場は約2%上伸して越週する見通し。トランプ米大統領の政権運営姿勢に対する懸念、利上げをめぐる不透明感を背景に、ドル相場が4週続落していることに支えられた。

東京金は突っ込み買い方針。赤で印を付けている価格は下値 の抵抗と予想。4380円台は買われやすくなります。まして や、インドの利下げ観測も強まっていることから、再び脚光を 浴びることでしょう。

東京白金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	3509円	3601円	3416円	3305円
移動平均線(日足)	5日	25日	100日	
	3617円	3571 円	3395 円	
移動平均線(週足)	5週	25週	100週	
	3586 円	3404 円	3680 円	
RSI (14日)	62.0%	乖離率(13日)	1.1%	乖離率7%が
RSI(14週)	60. 4%	乖離率(13週)	4. 5%	目安

ボリンジャーバンド					
$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$	
3645円	3616円	3589円	3561円	3533円	

CFTC 建玉明細(~までの一週間)						
日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り		
1/3	64, 102	42, 925	18, 171	24, 754		
1/10	62, 061	42, 669	12, 498	30, 171		
1/17	63, 219	43, 522	10, 490	33, 032		
1/24	62, 823	44, 751	8, 262	36, 489		
1/31	64, 552	46, 217	7, 244	38, 973		
前週比	1, 729	1, 466	-1, 018	2, 484		

コメント 本日の予想レンジ 3601 円~3634 円 今週の予想レンジ 3570 円~3680 円

東京白金は今だ買い方針継続とします。ロスカットがたびたびヒットしましたが、売る相場ではありません。ただし、NY市場でファンドが買い煽っている事だけは注意しておきましょう。CFTC建玉明細で買いポジションが、50000枚を超えると修正安が入る可能性があります。

3586 円~3589 円が下値の抵抗と考えており、3580円 台は未だ買い方針。ただし、3535 円を下回るようならば、 買い玉の撤退とします。

東京トウモロコシ

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	22180円	22400円	21340円	22690円
移動平均線(日足)	5日	25日	100日	
	22250 円	22190 円	20590 円	
移動平均線(週足)	5週	25週	100週	
	22330 円	20550 円	22700 円	
RSI (14日)	55. 4%	乖離率(13日)	-0.6%	乖離率5%が
RSI (14週)	61.6%	乖離率(13週)	3. 4%	目安

ボリンジャーバンド					
$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$	
22790円	22510円	22260円	22000円	21730円	

CFTC 建玉明細(~までの一週間)						
日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り		
1/3	1, 244, 604	354, 679	328, 655	26, 024		
1/10	1, 251, 333	366, 651	323, 630	43, 021		
1/17	1, 321, 861	388, 939	322, 138	66, 801		
1/24	1, 351, 289	415, 481	308, 744	106, 737		
1/31	1, 346, 772	390, 309	293, 286	97, 023		
前週比	-4, 517	-25, 172	-15, 458	-9, 714		

コメント 本日の予想レンジ 22300 円~22100 円 今週の予想レンジ 22500 円~20900 円

東京トウモロコシは、戻りを売っていくのが良いでしょう。シカゴ市場で、2月1日にファンドの新規買いが入り。 取組が1,373,480 枚まで増加しました。このまま、シカゴ3.6 ドル台で天候相場に入っても、天候プレミアムを買っていくのは困難。むしろ、弱材料で売り叩かれた方が、天候相場期待はできます。

よって、22300 円以上は売り方針と考え、21500 円以下 を目指して下げることでしょう。20600 円どころも考えら れます。状況に応じては売り乗せも考えます。

東京ゴム

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	309.5円	329.5円	260.6円	232.6円
移動平均線(日足)	5日	25日	100日	
	311.7円	297. 1 円	226. 2 円	
移動平均線(週足)	5週	25週	100週	
	303 円	222. 9 円	190.6円	
RSI (14日)	52. 2%	乖離率(13日)	2.8%	乖離率10%~
RSI (14週)	67. 7%	乖離率(13週)	11.1%	15%が目安

ボリンジャーバンド					
$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$	
339.6円	321.6円	304.5円	284.1円	269.5円	

コメント 本日の予想レンジ 303 円~297 円 今週の予想レンジ 305 円~290 円

ゴムは、上海市場がオープンしてから上値が重くなってきております。タイのシッパ一筋が自作自演で、SBを3発演じましたが、取引所が建ち玉の調査に動き出したことから、基本、この3回のSBは無視して良いでしょう。そう考えますと、312円が上値と考えており、7月限の安値を下回ったことを考慮しますと、308円が上値の抵抗になることでしょう。よって、305円以上は全て売り方針ですが、場合によっては指値を引き下げます。